

# 令和7年度第2回徳島県認知症施策推進会議 議事概要

## 1 開催日時等

日時：令和8年1月22日（木）

場所：徳島県立総合福祉センター（オンライン併用）

委員：出席20名（代理含む）、欠席7名

## 2 議題

（1）徳島県認知症施策推進計画（最終案）について

（2）意見交換

## 3 議事概要

会議冒頭に、「とくしま希望大使」より、ご自身の「経験」や「思い」、また、日頃の活動について発信いただいた。

（1）徳島県認知症施策推進計画（最終案）について

○事務局より、前回会議での御論議及び県議会での御論議、パブリックコメントの御意見を踏まえ、徳島県認知症施策推進計画（素案）より変更した主な箇所について説明し、委員より承認いただいた。

（参考）主な変更箇所について

- ・軽度認知障害（MCI）に関する記載の追加
- ・災害時の対応における災害派遣精神医療チーム（DPAT）及び災害派遣福祉チーム（DWAT）の記載を追加
- ・市町村における ICT を活用した見守り事業について記載を追加
- ・喫煙による健康被害の回避に関する記載を追加

○企業における認知症に対する理解促進について

- ・今後、高齢期の従業員も増えていくことから、企業自体が認知症に理解を示し、認知症の人と一緒に働くことが必要な社会になってきている。

○かかりつけ医の役割の重要性について

- ・かかりつけ医は、患者の家族構成を含めた生活背景についても把握していることが多く、レスパイト・ケア等の案内でも重要な役割を担っている。

（2）意見交換

○早期発見・早期対応、医療体制の整備について

- ・軽度認知障害（MCI）を含め、早期に発見し支援につなげていくためには、「かかりつけ医」と認知症サポート医、専門医療機関との連携が重要であることが改めて共有された。
- ・また、認知症の人の家族も含めて支援する「認知症初期集中支援チーム」の重要性についても改めて共有された。